

承認番号

オプアウト文書

研究課題名 「人文社会科学の知見を活用した行動科学教育は医学生にどのような学修成果を生むのか？」のご協力の依頼

研究グループ名 慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター

研究責任者 春田淳志

研究機関名 慶應義塾大学医学部

(所属) 医学教育統轄センター

上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。今回の研究では、同意取得が困難な対象となる医学生に向けて、情報を公開しております。なお この研究を実施することによる、新たな負担は一切ありません。また学生のプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない学生は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2025 年 4 月 1 日時点において第 5 学年および第 6 学年に在籍中の慶應義塾大学医学部の学生

2 研究課題名

承認番号

研究課題名 「人文社会科学の知見を活用した行動科学教育は医学生にどのような学修成果を生むのか？」

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター

4 本研究の意義、目的、方法

1) 本研究の意義

従来の医学教育においては、知識や技能の習得が中心であり、複雑な人間関係や価値観の多様性に対応する力をどのように育成するかは十分に検討されてきませんでした。そこで、医学生が行動科学教育を通じて多様な他者の視点と出会い、自らの価値観や医療者としての姿勢を再構築していくプロセスを明らかにする点において意義があります。

2) 目的

認知行動療法(CBT)や人類学的視点を活用したケーススタディを通じて行われた行動科学Ⅱの授業に参加した慶應義塾大学医学部の医学部 3 年生を対象に、学修成果がどのように形成されたのかを明らかにすることを目的とします。

3) 方法

行動科学Ⅱで提出された授業後の感想やレポート等を質的に分析するリアリストアプローチという方法を用いて実施します。

5 データの項目

行動科学Ⅱで提出された授業後の感想やレポート、事前課題等

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

行動科学Ⅱで提出された提出物は、名前を削除した後に分析をするため、個人が特定されることはありませんが、得られた情報は厳重に管理します。また、研究終了後、上記のデータを破棄する際は、紙媒体のものは裁断して廃棄、電子媒体のものは完全に消去いたします。本研究の結果は、学術集会や学会誌への投稿を予定していますが、その際にも個人が特定されることはありません。

本研究を実施するための研究資金は受けておりません。開示すべき利益相反はありません。

8. 同意について

新たに協力を要することは発生しません。研究参加の拒否の意思を表明することができます。研究参加の拒否をしても、成績などに関わることは一切ありません。

9. 研究についての情報共有

本研究については、慶應義塾大学医学部医学教育統轄センターホームページをご覧ください。

<https://www.med.keio.ac.jp/education/medical-education-center/index.html>

10. 外部への試料・情報の提供

なし

11. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる学生より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター

住所：東京都新宿区信濃町 35

電話：03-5363-3514（内線：61095、オフィスアワー：9－17 時）

研究責任者・担当者：春田淳志